



写真特急便 北島敬三

東京

「白昼の通り魔北島敬三」●森山大道

もしかしたらぼく自身の興味、好みを一方的に北島敬三にダブらせてしまっているような気もするし、拘摸の手業でもなく痴漢の視線でもない、白昼堂々凶行に及ぶといった不敵なカメラマン魂を潜在的に彼に期待しているのかもしれない。つまり、ぼくは北島敬三をして唯一何かを託してみたい気持ちが底の方に働いているような気もするのだ。

パルル舎 ● 価 2500円